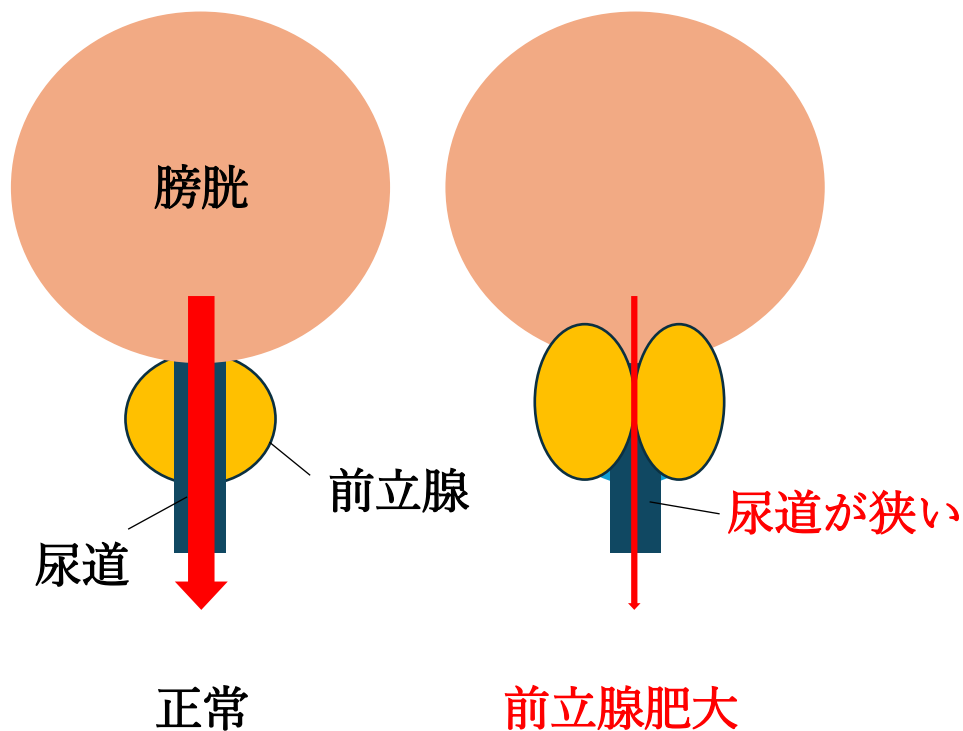


男性の排尿障害（前立腺肥大症）

特に男性の原因の一つとして前立腺肥大症があります。前立腺は男性特有のもので、生殖に関係する臓器です。前立腺は膀胱の下、尿道の途中に存在しており、年齢とともに肥大していくため膀胱から出てくる尿の通り道を狭くし、尿の勢いの低下や、頻尿となります。

当科では薬物治療と手術療法として CVP（接触式レーザー前立腺蒸散術）を行っています。CVP を行うことで、排尿障害で使用していた薬剤を中止できる可能性もあります。

図 ①



CVP（接触式レーザー蒸散術）とは？

尿道へ内視鏡を用いて光ファイバーを挿入し、前立腺肥大症によって狭くなった部位にレーザーを照射し、組織内の水や血液を気化させ組織を消失させる手術です。

麻酔下で手術を行うため術中に痛みを感じることはありません。

また、止血能力が高く、出血も少ないため従来の前立腺肥大症手術と比較し入院期間が短く（入院期間 4～5 日）、男性機能に影響しにくいため年齢層に関係なく手術が可能です。

図②

術前



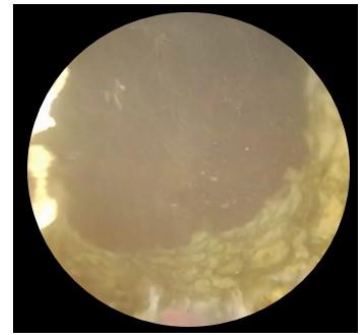
前立腺が肥大し
尿道を圧迫

術中



前立腺をレーザー蒸散
出血が少ない

術後



前立腺の尿道圧迫が解除
されスムーズな排尿が可能に

CVP の術前、術後所見